

みしま

2015

April
卯月

4

No 265

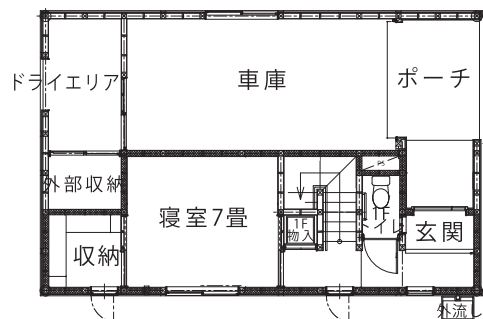


旅立ちの春
夢に向かってがんばれ!
卒業生

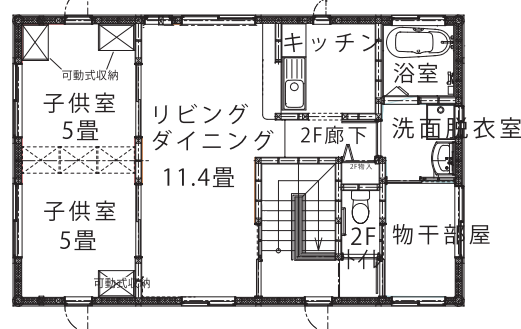


間取り図

1階



2階



間取りは3LDK＋ウォークインクローゼット、サンルーム、車庫、外部収納が設置されている。リビングのフローリングには三島産会津桐を使用しており、桐の優しい肌触りとぬくもりが感じられる。またリビングを2階にすることでプライバシーと日当たりを確保。三島町ならではの町営住宅が完成した。



子育てしやすい住宅で定住支援 三島町子育て支援住宅完成

4棟に入居者が決定 町外から2世帯が転入

三島町子育て支援住宅が4月に完成しました。内覧会は3月1日・2日に行われ、多くの方々が新しく完成した住宅を見学し、住宅の様子を見てまわりました。この住宅は子育て世帯の定住促進を目的に建設されたもので、町では平成24年度から町営住宅建設部会で検討を進めてきました。また、同部会

では、「住まいについて語る集い」を定期的に開催し、町内に住む子育て世帯の方と住みやすい住宅について意見を交換してきました。子どもの人数や成長に合わせて部屋を仕切ることができ、リビングに隣接した子ども部屋や対面式のリビングなど、子育てしやすい間取りになっています。



4月

目次

2 高齢者自立支援住宅愛称 ひまわり荘に決定

3 三島町子育て支援住宅完成

4 平成27年度予算

6 町民記者通信

ひな人形作り／ひな流し／川井の観音講
マイマイガふ化開始／宮下地区大字総会
宮下地区で団子まき／大石田で観音講
滝原地区で輪投げ大会／

8 マイナンバーについて

9 只見線に手を振ろう条例制定

10 三島中・三島小卒業式 三島保育所満了式

11 観光協会主催のツアー開催

12 シリーズ介護保険改正

14 民話 第49話 弘法アサズキ 夢ポケット Book Review

15 こんにちは。協力隊です。Vol.18

16 会津坂下警察署から／会津職業能力開発センター訓練生募集／国民年金基金制度のご案内／ご寄附／黄色い帽子の贈呈／町の人口と世帯／町の人事／五十嵐健二さん消防庁長官表彰／宮下地区建設業協同組合が寄付／固定資産評価審査委員に板橋健也さん

18 第34回三島町生活工芸品展 第14回全国編み組工芸品展

20 カタクリ・さくらまつり



賞状を手にする五十嵐絹子さん（早戸）

町では昨年12月に完成した高齢者自立支援住宅の愛称を町内から募集しました。応募された愛称の中から、審査を行い、五十嵐絹子さんの「ひまわり荘」に決定しました。愛称決定の表彰は3月20日町長室で行われ、五十嵐さんに二瓶町長から賞状と記念品が手渡されました。

高齢者自立支援住宅愛称 「ひまわり荘」に決定 五十嵐絹子さんが命名



福島県大沼郡三島町 みしまち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km² ■人口 1,806人（3月1日現在）



町の予算

Pickup1 農業



平成 26 年度、町出資により設立した農業法人「桐の里産業株式会社」を主体に後継者と認定農業者の育成に取り組み、耕作放棄地の解消を目指します。また、水稻栽培のほか農作業の受委託にも取り組み、集落営農組織と連携し農地の維持に努めます。

町 産業建設課 産業係
☎ (48) 5566

Pickup2 雇用



当町では平成 27 年度も県緊急雇用創出事業を実施し、町内の雇用を確保していきます。

今年度は、5 事業 17 人の雇用を予定していますが、当事業が終了した場合に備え、各事業計画を見直し、継続した雇用確保を図ることが課題です。

町 地域政策課
☎ (48) 5533

Pickup3 観光



4 月から始まるふくしまディスティネーションキャンペーンに向けて、来訪者へのおもてなしを強化し、町内の観光スポットをさらに磨き上げ魅力の向上に努めます。また各種観光施設や事業者と連携し、滞在型旅行者を増やし、経済効果を高めていきます。

町 地域政策課
☎ (48) 5533

Pickup4 健康



特定健診の受診を促し、健診結果の内容から個別の指導を行い病気の重症化や発生予防に努め、医療費の軽減を図ります。また妊婦・乳幼児健診、育児相談の充実を図り、幅広い世代で生活習慣病予防の支援を行います。

町 町民課 福祉係
☎ (48) 5565

Pickup5 防災



災害に備え、地区防災計画とハザードマップを作成し、町民一人ひとりの防災意識の高揚を図ります。また、地区住民の一時避難所となる各地区集会所の耐震改修を年次計画に基づき実施し、特に老朽化の激しい集会所については建替えを実施します。

町 総務課
☎ (48) 5511

Pickup6 介護



地域と連携した支援ができる仕組みづくりを目指します。また、介護保険制度の見直しや介護予防事業の推進により高齢者がいつまでも元気で生き生きとした生活が送れるように、軽い体操を普及し給付費の適正化に努めます。

町 町民課 福祉係
☎ (48) 5565

Pickup7 町史

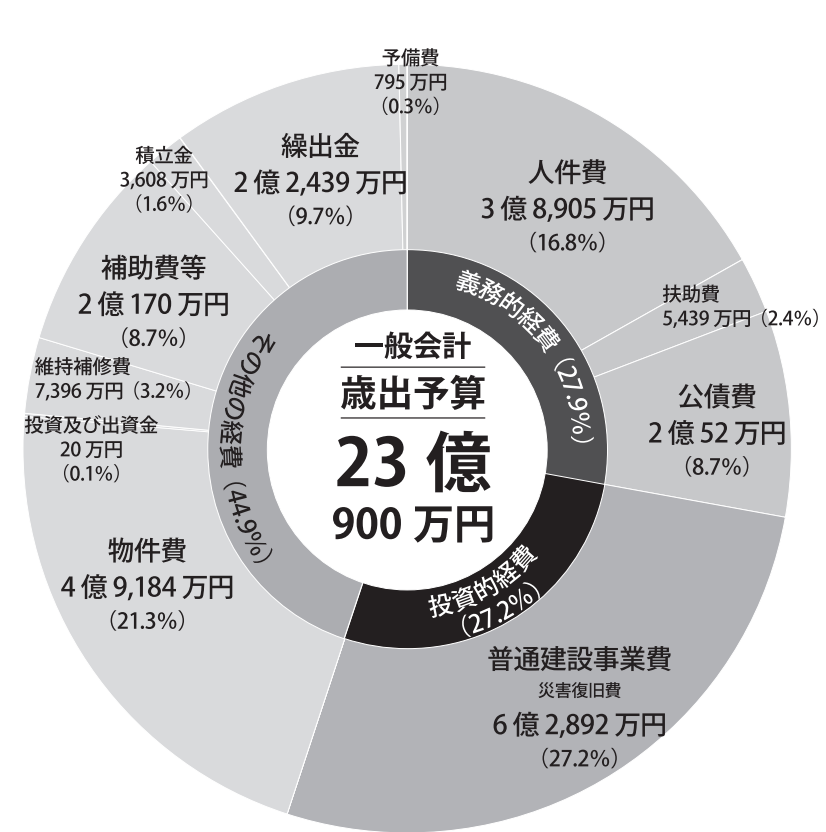
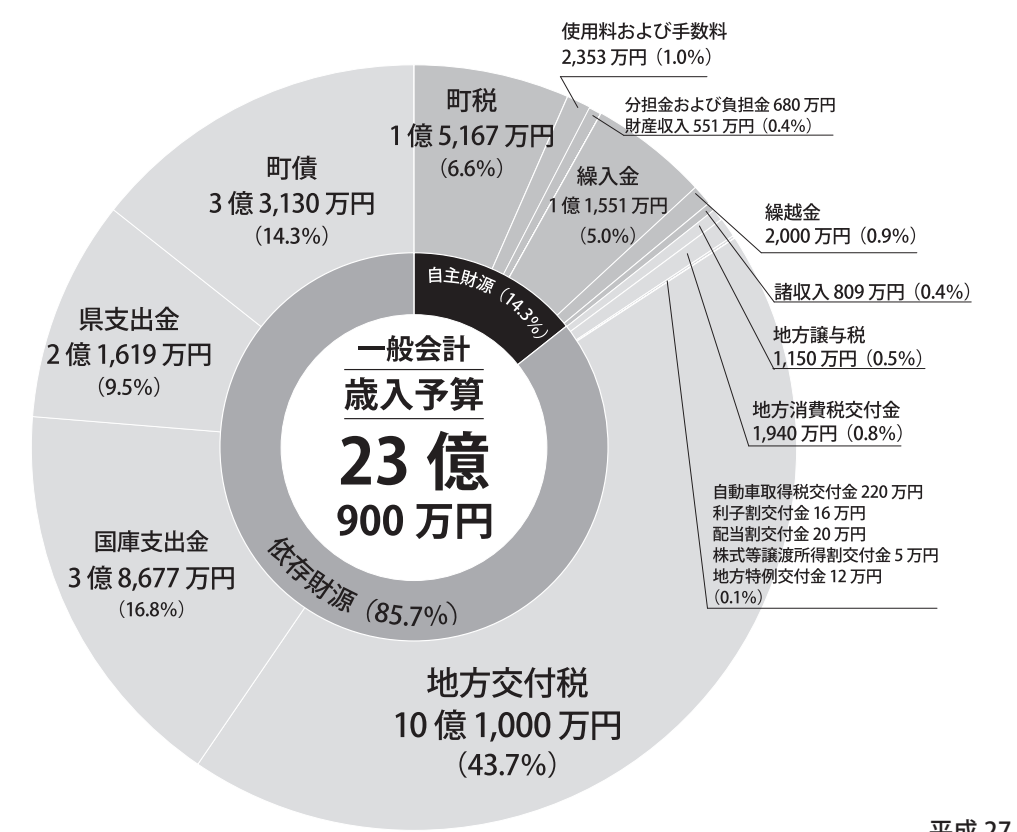


町の歴史の変遷や文化を記録・保存し、残された貴重な資料を後世に継承していきます。

手にとって読んでもらえる町史をつくるため、写真や図版を多く取り入れます。編さんにあたっては各地区において調査を行い、掘り起しと記録を行います。

町 教育委員会
☎ (48) 5599

町の一般会計と7つの特別会計の予算が、3月の町議会定例会で議決されました。今年度は、第四次三島町振興計画「前期基本計画」の最終年度に当たります。町民のみなさんと町が一体となった協働のまちづくりを一層進め、「住みたい、住み続けたいふるさと」を目指します。



用語の説明

- **一般会計と特別会計**
町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。
- **町税**
町民の皆さんに納めていただく税金です。町民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。
- **町債**
町の借金で、公共施設の建設など、一時的に多額の費用を必要とする場合の財源に充てられます。
- **地方交付税**
町の財政力に応じて、国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定のサービスができるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。
- **国庫支出金・県支出金**
町が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金です。
- **人件費**
報酬や給与などです。
- **物件費**
賃金、旅費、消耗品費、燃料費などの消費的な経費です。
- **維持補修費**
道路や公共施設などを管理するための経費です。
- **扶助費**
高齢者、児童、心身障がい者などに支援する経費です。
- **補助費等**
町から他の団体などに対して、特定の目的で支払う補助金などです。
- **普通建設事業費**
道路や住宅、公共施設などの整備のための経費です。
- **公債費**
町の借金を償還する（返す）ための経費です。
- **積立金**
財政運営のために積み立てるお金です。
- **繰出金**
一般会計から特別会計に出しているお金です。

平成 27 年度 会計別予算額		
会計種別	予算額	前年度からの増減
一般会計	23 億 900 万円	+ 1 億 7,600 万円
特別会計	国民健康保険	+ 975 万円
	簡易水道	+ 8,942 万円
	路線バス	+ 156 万円
	農業集落排水	+ 169 万円
	介護保険	+ 657 万円
	戸別合併処理浄化槽	+ 36 万円
	後期高齢者医療	- 66 万円
合計	33 億 5,582 万円	+ 2 億 8,470 万円



大字総会を開催 宮下地区

文・写真 町民記者 小島純さん（宮下）

3月15日、宮下地区総会が宮下活性化センターで行われ、平成26年度の地区事業報告書や歳入歳出決算と、平成27年度の歳入歳出予算案などが承認されました。総会では、宮下地区で行われている美観運動に積極的に活動している方々に感謝状が贈呈されました。

また、平成27年度の宮下区長には齋藤茂幸さんが承認されました。



涅槃会（団子まき）行われる 宮下地区

文・写真 町民記者 小島純さん（宮下）



3月15日、宮下地区の宮昌寺において、午前9時からの上法事、春彼岸先祖供養に引き続き、涅槃会（団子まき）が行われ、集まった住民が方丈様、宮昌寺護寺会の方々が撒く色とりどりの団子をごぞってひろい集めました。



大石田で観音講

文・写真 町民記者 渡部和さん（大石田）

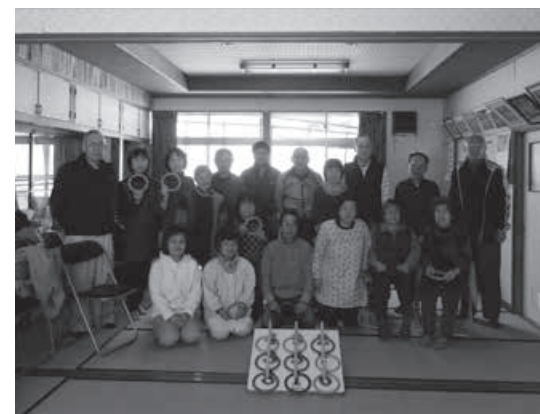
3月15日、大石田地区で観音講が行われ、20名の女性が参加しました。夕方5時、地区の小高い場所に建つ観音堂へと上り、子どもたちの健やかな成長を祈ってお参りしました。

この観音堂は、昭和51年に三島町の重要文化財に指定されています。昔、壊れたお堂の扉を何度直しても、すぐにまた壊れ開いてしまうことから、「観音様は子めらと遊びたいんだべ」と言い合ったという話が残されています。お参りの後は改善センターで懇親会を開き、大きな団子をお護符にいただいて、なごやかなひとときを過ごしました。



輪投げ大会で親睦深める 滝原地区

文・写真 町民記者 板橋博さん（滝原）



3月15日、滝原林業集会センターにて分館長主催により、輪投げ大会を開催しました。前日まで雪が降り続いていましたが、当日はめっきり春めいた気持ちの良い陽気になりました。

冬は寒くて集まる機会が少ない中、19人の方が参加しました。参加者の中には初心者から熟練者までさまざまです。競技の合間、お茶を飲んだり、菓子を食べたりして話がはずみました。

輪投げでは300点という高得点が飛び出し、とても盛り上がりました。2時間ほどでしたが普段会えない方とも会えて、とても有意義なひとときでした。



ひな人形作り 高清水地区

文・写真 町民記者 菅家敏一さん（高清水）

2月27日、会津短大の先生と4人の学生が高清水地区で、ひな人形作りを体験しにきました。学生たちは初めてのひな人形づくりでしたが、3時間程で見事に完成させました。人形は表情や姿形も健気におしとやかな出来栄えで感心しました。学生たちに、4日のひな流しと一緒に流してはどうかと提案したところ「もったいないので家に飾って大切にします」とのことでした。20歳前後の学生が感心を持ってくれたことが、この上ない喜びであります。



伝統を守って、ひな流し 高清水地区

文・写真 町民記者 菅家敏一さん（高清水）



3月4日、高清水地区で受け継がれる行事「ひな流し」が行われました。桃の節句に女の子の健やかな成長を祈い、各家庭で作られたひな人形を流す行事です。三島小の1・2年生が作ったひな人形も一緒に流し、只見川の流れに揺られていくひな人形に、手を合わせ願いを込めていました。

小さな地区の行事ではありますが、協力し合って永く続いてほしいものです。



和気あいあい、川井の観音講

文・写真 町民記者 角田伊一さん（川井）

3月7日、栄光館で川井地区の観音講が開かれました。例年より少ない参加者でしたが、和気あいあい楽しく過ごしました。

江戸初期造文化財級の子安観音像（おぼだき観音）を会場にお祀りし、礼拝をすませたあと、それぞれ持ち寄った果物、菓子、漬物、料理などで茶飲みをしながら、今後の観音講のあり方などを話し合いました。昔は村の女性全員が参加し、毎月16日頃に各家廻りで行い、2月16日はくじ引き観音講といい、当たった人は竹屋観音寺へ代参する習わしなどを話し合いながら、400年以上続いてきた伝統行事をみんなで守り、継続して行くことに相談がまとまりました。



速報 マイマイガふ化開始しました

文・写真 町民記者 角田伊一さん（川井）



昨年大発生したマイマイガの越冬卵が早くもふ化を開始しました。目下のところは室内に生みつけられた越冬卵塊が、春の陽気を感知してふ化したものですが、間もなく戸外の卵塊も一斉にふ化するでしょう。ふ化直後の幼虫は1ミリの微細な毛虫ですが、成長の早いものでは既に5ミリのほどにも成長し、暖房のきいた室内で成長しています。幼虫は体長よりも長く微細な毛で全身をおおわれ、その体毛は毒性があり肌にふれるとかゆみや発疹を起こすことがあるといわれています。越冬卵塊は雪解けとともに一斉にふ化し、樹木の葉や野草を摂食して大きな毛虫に成長します。今年は膨大な数の幼虫が発生し、室内にも入り込んできます。まだ間に合いますから、越冬卵の塊を見つけたら早く取り除いて水に流すか、火で焼くことをおすすめします。



伝われ復興の想い！ つながれ只見線！！ 只見線に手を振ろう条例成立

JR只見線は新潟・福島豪雨から、4年が経過しようとしています。会津川口・只見駅間が不通となっており、復旧の見通しが立たない状況が続いています。全線復旧への機運を高めようと「三島町只見線に手を振ろう条例」が3月の町議会定例会で可決されました。

これまで当町を含め、県及び関連市町村では、全国に向けた只見線の魅力発信や、応援団を募り、寄付金を集めたり、只見線利用促進ツアの実施など、様々な事業に取り組んできました。そして、沿線町村が一体となり、さらに復旧の動きを盛り上げようと、只見町、柳津町、金山町、昭和村の奥会津5町村と新潟県魚沼市でもこの条例が制定されました。

条例は住民の皆さんに列車を見かけた際に手を振り、応援を呼びかけるものです。只見線の全線復旧を願い、みんなで手を振しましょう。

只見線応援団会員募集しています

JR只見線の全線復旧を願う住民、自治体をはじめ関係団体と只見線の復旧に心を寄せていただける全国の方々とともに只見線を応援するため只見線応援団の会員を募集しています。

◆加入方法

福島県生活交通課のホームページから加入申込書をダウンロードして郵送するか、またはホームページから電子申請してお申込みください。

◆会員資格

- 1 個人会員** 只見線応援宣言に賛同し、福島県復旧復興基金へ2,000円以上寄付いただける個人の方
- 2 法人会員** 只見線応援宣言に賛同し、福島県復旧復興基金へ10,000円以上寄付いただける法人・団体の方
- 3 賛同会員** 只見線応援宣言に賛同する個人（寄付金はありません）

◆会員特典

- 1 共通** 会員証の送付、メールマガジンの送付
- 2 個人会員・法人会員** 会員証の提示による割引、只見線応援グッズ



シリーズマイナンバー 第2回

マイナンバー 社会保障・税番号制度

国民生活を支える社会的基盤として、社会保障・税番号制度を導入します

前はマイナンバーの概要についてご説明しました。第2回は「通知カード」と「個人番号カード」についてご説明します。



イメージキャラクター
マイナちゃん



通知カードと個人番号カード

平成27年10月に、マイナンバーを通知するための「通知カード」が配付されます。また、平成28年1月以降には、様々なことに利用できる個人番号カードが申請により交付されます。

■ 通知カード

通知カードは、紙製のカードが配付される予定です。券面に氏名、住所、生年月日、性別（基本4情報）、マイナンバーが記載されます。**通知カードはすべての方に送られますが、顔写真が入っていないので、本人確認の時には、別途顔写真が入った証明書などが必要になります。**

■ 個人番号カード

個人番号カードは、券面に氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバーなどが記載され、本人の写真が表示されます。**平成27年10月に通知カードでマイナンバーが通知された後に、市区町村に申請すると、平成28年1月以降、個人番号カードの交付を受けることができます。**

個人番号カードは、本人確認のための身分証明書として利用できるほか、カードのICチップに搭載された電子証明書をを用いて、e-Tax（国税電子申告・納税システム）をはじめとした各種電子申請が行えることや、お住まいの自治体の図書館利用証や印鑑登録証など各自治体が条例で定めるサービスにも使用できます。

なお、個人番号カードに搭載されるICチップには、券面に書かれている情報のほか、電子申請のための電子証明書は記録されますが、所得の情報や病気の履歴などの機微な個人情報は記録されません。そのため、個人番号カード1枚からすべての個人情報が分かることはありません。

通知カードが届いたら、役場町民課で個人番号カードの申請を！！

※個人番号カードの申請は任意ですが、サービスをご利用できますのでぜひ申請ください。

●役場 町民課 ☎（48）5556



わいわい楽しい列車の旅



会津宮下駅から只見線に乗車



東京スカイツリーとアサヒビールタワーを背景に
参加者のみなさんと記念撮影



浅草の夜景

JR只見線利用促進ツアー第四弾『浅草演芸・上野アメ横散策』を楽しみました。

町観光協会の企画によるJR只見線利用促進ツアーの第四弾「浅草演芸・上野アメ横散策」は、2月28日～3月1日に1泊2日の日程で行われ、17人が参加しました。参加者は只見線と磐越西線、新幹線を利用し東京に向かいました。

まずは『浅草演芸ホール』での漫才や落語、マジックショーなどを楽しみました。続いて浅草寺前を散策、隅田川下りでは浅草の幻想的な夜景も楽しみました。

二日目は上野周辺での自由散策。上野アメ横でショッピングを楽しんだり、上野動物園へ出かけたりと、それぞれが自由時間を満喫しました。

間方地区で田舎暮らし体験ツアー かんじき作って雪山歩き！

町観光協会の田舎暮らし体験ツアーは3月7日・8日、間方地区で行われました。かんじき作りやそば打ち体験、雪山ウォーキングを実施。間方地区の方々がかんじき作りの指導や、雪山のガイドなどを務めたほか、手回し道具を使ったそば打ちなども教え、ツアー参加者をもてなしました。交流会では地区の方と参加者らが膝を交えて親睦を深めました。

参加した方からは「一つひとつが温かいおもてなしでとても感動しました」という感想が多く寄せられました。



感謝を胸に大きくはばたく 三島中卒業式 11人が旅立ち



感謝の想いを込めて花を贈る卒業生。三島中卒業生11人／青木亜友（西方）、阿部翔兵（滝谷）、板橋瑞樹（滝原）、大竹昌寿（滝谷）、小柴美蘭乃（西方）、小平陸（西方）、齋藤真歩（宮下）、二瓶葉里（名入）、羽田佑真（西方）、坂内萌人（宮下）、舟木里奈（中平）

三島中卒業式は3月13日に行われ、11人が門出を迎えました。馬場勇校長は「卒業生は忍耐強く、地道に努力を重ねてきました。人は磨かれてこそ輝きを発します。今後も学問や芸術、運動や技能をひたすら磨き、より高みを目指して自己研さんを積んでください。」と話しました。続いて坂内洋二教育委員長が告辞を述べました。二瓶隆司町長、小柴修一町議長、五十嵐忠也PTA会長が祝辞を述べました。卒業生は一人一言、家族や地域の方々への感謝の言葉を述べました。「ほたるの光」「仰げば尊し」、卒業讃歌「桜の季節」を歌い、新たなスタートを祝いました。

たくましく大きく成長し中学へ 三島小卒業式 10人が卒業



6年間通い慣れた学びやを旅立つ卒業生

三島小卒業式は3月23日に行われ、10人が卒業しました。三星了一校長は「自分の力を信じて、勇気を出してチャレンジし、一步一步あゆんでください。」と式辞を述べました。卒業証書を受け取った卒業生は一人ひとり将来の夢や目標、中学校生活に向けた抱負を述べました。坂内洋二教育委員長が告辞を述べ、二瓶隆司町長、小柴修一町議長が祝辞を述べました。

小学校で友達 三島保育所満了式

三島保育所の満了式は3月27日に行われました。満了を迎えた小柴美優さん（名入）は五十嵐乃里枝所長から満了証書を受け取ると、後ろで待つお母さん、お父さんに「ありがとう」と言って満了証書を手渡しました。その後「思い出のアルバム」などを歌い、思い出が詰まった保育所とお別れしました。

春からは小学校に入学する友達が増える予定で、初めてのクラスメイトと過ごす小学校生活に胸をふくらませていました。



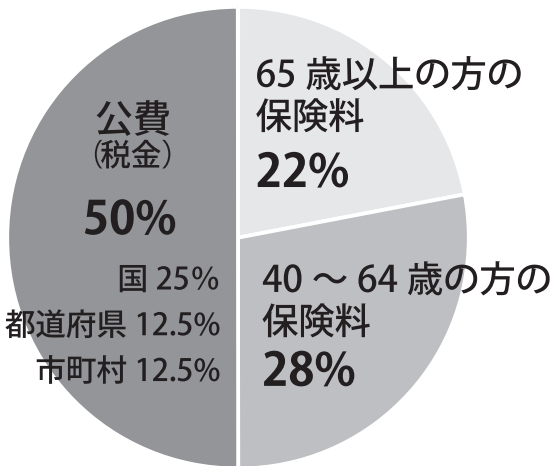
お父さんとお母さんに満了証書を手渡し小柴美優さん

保険料の財源

平成 27 年度から 65 歳以上の方の負担割合が 22%に

40 歳以上のみなさんが納める介護保険料は国や自治体の負担金などとともに、介護保険を健全に運営するための大切な財源となります。

平成 26 年度までは 65 歳以上の保険料の負担割合は 21%、40 歳～ 64 歳の方が 29%でしたが 27 年度からは右表のとおり変更されます。



保険料の決まり方

$$\frac{\text{町で必要な介護サービスの総費用}}{\text{65 歳以上の方の負担分 (22\%)}} \div \text{町内に住む 65 歳以上の方の人数}$$

＝ 三島町の保険料の基準額(平成 27 年～ 29 年) **年額 90,000 円** (月額 7,500 円)

※平成 24 年～平成 26 年までの基準額は年額 59,520 円 (月額 4,960 円)

所得段階ごとの保険料 (平成 27 年～ 28 年まで)

所得段階	対象となる方	保険料の割合	保険料
第 1 段階	①生活保護受給者の方、②老齢福祉年金受給者で町村民税非課税の方、③世帯全員が町民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 80 万円以下の方	基準額× 0.45	40,500 円
第 2 段階	世帯全員が町民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 80 万円超 120 万円以下の方	基準額× 0.75	67,500 円
第 3 段階	世帯全員が町民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 120 万円以下の方	基準額× 0.75	67,500 円
第 4 段階	世帯の誰かに町民税が課税されているが本人は町民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 80 万円以下の方	基準額× 0.9	81,000 円
第 5 段階	世帯の誰かに町民税が課税されているが本人は町民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 80 万円超の方	基準額× 1.0	90,000 円
第 6 段階	本人が町民税課税で前年の合計所得金額の合計が 120 万円未満の方	基準額× 1.2	108,000 円
第 7 段階	本人が町民税課税で前年の合計所得金額の合計が 120 万円以上 190 万円未満の方	基準額× 1.3	117,000 円
第 8 段階	人が町民税課税で前年の合計所得金額の合計が 190 万円以上 290 万円未満の方	基準額× 1.5	135,000 円
第 9 段階	人が町民税課税で前年の合計所得金額の合計が 290 万円以上の方	基準額× 1.7	153,000 円

シリーズ介護保険改正①

65 歳以上の介護保険料が変わります

三島町の介護保険料は 3 年ごとに介護保険事業計画で見直しを行っています。

一人暮らしなどの高齢者世帯の増加により在宅での介護が難しくなっており、施設利用者が増え、介護保険サービス費が年々増加しています。保険料も現状に合わせて変更されます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



介護保険事業計画の見直しが行われた
策定委員会の様子

三島町の現状

2 人に 1 人が 65 歳以上。高齢化率は県平均の約 2 倍

当町の総人口は減少し続けており、高齢化率も平成 26 年には 48.8% となり、上昇傾向にあります。

一方、65 歳以上の高齢者は平成 17 年を最大として減り始めており、75 歳以上の後期高齢者数は平成 22 年より徐々に減り始めている傾向があります。

団塊の世代が後期高齢者を迎える平成 35 年頃にはさらに総人口と共に高齢者も減少する見込みです。

人口構成と高齢化率の推移

	昭和 55 年	平成 12 年	平成 22 年	平成 26 年
総人口	3,389	2,474	1,926	1,831
65 歳以上	558	939	912	894
うち後期高齢者	240	428	597	585
40 歳～64 歳	1,354	834	615	522
高齢化率(三島町)	16.5%	38.0%	47.4%	48.8%
高齢化率(福島県)	10.5%	20.3%	25.0%	25.1%
高齢化率(全国)	9.1%	17.4%	23.0%	23.2%

要介護認定者数が増えています

高齢者の増加に伴い、要支援・要介護認定者数も増えています。特に三島町は介護認定率が会津で最も高い状態です。また、認定を受けている方の介護度が高い傾向にあります。

要支援・要介護認定者数の推移

	平成 12 年	平成 18 年	平成 22 年	平成 26 年
要支援 1～要介護 3	56	110	149	153
要介護 4、5	42	36	48	89
認定者総数	98	146	197	242
認定率	10.3%	14.9%	21.3%	26.1%

介護サービス費用が増加 一人当たりのサービス平均費用は県内一位

要介護認定率の増加に伴い、介護給付サービス費用額も大幅に伸びています。平成 25 年から当町の一人あたりのサービス平均費用額は県内で最も高く、他の町村よりも費用が多く発生していることが伺えます。サービスの利用が多くなれば介護保険料の上昇の要因にもなります。

介護サービス費の推移

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年
介護サービス費用	3 億 735 万円	3 億 3,473 万円	3 億 5,152 万円
施設サービス費用	1 億 9,881 万円	2 億 2,603 万円	2 億 3,470 万円
居宅サービス費用	1 億 854 万円	1 億 870 万円	1 億 1,682 万円

民話



第49話

弘法アサズキ

元話

五十嵐フミエさん（大谷）

再話

五十嵐七重さん（西方）

むかし昔のその昔ここら辺りの雪解けの節：弘法大師様なあ七折り峠のてっぺんさ立つちやつたどお

「あれあれ何と貧しい村々だなあ」朝餉^{あさげ}の支度煙りもたつてねえ煙の立つ家はポツポツだ。汁さ入れるお菜もねえのが」

ボソボソ独り言いいながら、柳津があ、滝谷ど、入ってこらったど。どこの村た

んねでも、あっちこっちの雪とげでも、ねつか何も食われそうな草も生えでねえだど

「やれやれ雪が解げだらなあ」楽しみにしてべえに：何とかしてくつちえなあ」

弘法大師様なあ首コックコックしながらもどらつけど。

奥会津の人だれば、だつちえも弘法大師様になのえつきやつてながったどお。

したがなあ ある朝村のてえ起きたらな、たまげだどお。んじやつてなあ

雪の消えたどさポツポツポツポツ黄緑のめんこい草の芽が出でだあど。採って

みつと、良い匂いしんだど。食つてみつかどつて、生で食つても、煮で食つてもん

めええだどお「わー食つてみつせ食われんぞお」どつて たち

まちふれまわつて、どこの家のみそ汁さ入つちやり、

浸しにしたり、食うようになつただど。

何でもなあ 弘法大師様が七折り峠がらこつちの方

さ、アサズキの種バラバラーッッ時いてくれやつたどお。

雪解け一番ものに「よつぱら食つて、元気に稼げよお」どつてな。有り難えごどだなあ。ざつと昔さげえ申した

ほめ言葉

将棋盤のほめ言葉

角田クニ子さん（大登）

アゝラ目出度いな目出度いな

床にかかりし掛け物は牡丹に唐獅子竹に虎

お座敷中をば眺めれば将棋盤にも さもにたり

花婿さん花嫁さんを王にして

仲人夫婦は飛車と角

お送り来れし御客様は金と銀

あたまの客は 桂と香夫婦仲良く睦まじくと

ホホ敬つて申し上げます

こんにちは。協力隊です。

Vol.18

三島町地域おこし協力隊 三浦 健太郎

まず初めに報告させていた

だきますが、私は4月1日より三島町役場の職員となり、

地域おこし協力隊としての活動は3月31日を以つて終了となり

ました。そのため、私がこちらで記事を書くのも最後

となりますので、結びの挨拶も兼ねて今回の寄稿とさせていただきます。

まず正直に言えば、初めは

合いも広がっていくことで、1年目の秋頃にはもう1年残つて頑張りたいと思うよう

になりました。一方仕事に関しては、以前から地元で公務員になりた

かったので、役場に関する仕事には何でも興味があり、初

めから色々な経験をさせてもらつてとても勉強になつてい

ました。また、観光PRや物販のような自分には向いてい

ない・好きじゃないと思つていた仕事もいくつかありまし

たが、それらも取り組んでいくうちにやりがいを感じてい

くことが多かつたです。そうして、とにかく何事も経験し

てないとかわらず、その後はどう生かすかが重要なのだと

感じるようになりました。

2年目を迎えて少し余裕が出てきた頃には、自分で考えて行動することもできるようになり、町についても目を向けられるようになりました。そこで三島町に関する課題

や、人が少ない地域のメリット・デメリットなどについても常に考えるようになり、そうして三島町について考える時間がどんどん増えていくうちに、町が地元よりも気になる場所となり、自分がその発展にかかわりたいと思うよう

になったのです。そして他にも様々な理由や要因が積み重なって、三島町職員として町に残ることを決

断しました。その理由の中で、とりわけ大きかつたのが、町

に残つた方が地元に戻るよりも必要とされる存在になれるのではないか、また仕事もやりがいがある思つたからです。その答えはこれから数年、数十年と仕事に励んでからわかることですが、その決断が間違つてなかつたと思えるようにしていききたいと思ひます。

Book Review



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

●利用時間 ①～④ 9:00～21:00 ⑤⑥ 9:00～17:00 ●お休み 年末年始 ⑦教育委員会 ☎(48) 5599

<夢ポケットからのお願い>返却期限が過ぎた本はすみやかに返してください。



命のバトン

堀米 薫 著
校成出版社

宮城県農業高校で大切に育てられていた牛たちは津波に襲われたが生徒や先生たちの努力で助けられ、やがて被災した人たちへの大きな励ましとなった。写真入りで小学生でも楽しく読むことができます。



会津学 vol.7

奥会津聞き書き百選7
～一枚の写真から～
「じいちゃんありがとう」

只見川電源流域振興協議会編
柳津・三島・金山・昭和・只見・檜枝岐の小・中学生117人が、家族から聞いた話を記録した「聞き書き」。子供たちのひたむきなまなざしが伝わってくる。



会津学 vol.7

会津学研究会
奥会津書房発行

新潟福島豪雨災害の記録、聞き書き、会津の暮らしを伝えるレポート写真など。
会津から学び、発信してきた「会津学」シリーズの最終号。

五十嵐健二さん 消防庁長官表彰 永年勤続功労章

2015.3.19



永年勤続功労の章記を手にする五十嵐健二さん

五十嵐健二さん（宮下）は消防活動の功績が認められ、消防庁長官表彰を受けました。五十嵐さんは昭和 54 年に町消防団に入団。35 年間に渡り災害から町民の生命と財産を守ってきました。現在も、副分団長と訓練部長を兼任し、その豊富な知識と経験を活かして、団員の指導にあたっています。

宮下地区建設業協同組合が町に寄付

2015.3.10



二瓶町長に寄付を手渡す宮下地区建設業協同組合代表理事の佐久間源一郎さん

宮下地区建設業協同組合は、2 月 8 日に開催された第 42 回雪と火のまつりにおいて「土木カフェ」を出店し、その売上金を町に寄付しました。代表理事を務める佐久間建設工業(株)の佐久間源一郎代表取締役が 3 月 10 日、役場を訪れ、二瓶町長に目録を手渡しました。

固定資産評価審査委員に板橋健也さんが再任

2015.3.20



固定資産評価審査委員に再任された板橋健也さん

三島町固定資産評価審査委員に板橋健也さん（滝原）が再任され、3 月 20 日、二瓶町長から委嘱状が交付されました。

固定資産評価審査委員は、固定資産の評価額に関する不服の審査を中立的な立場で行います。任期は平成 30 年 3 月 19 日までの 3 年間です。

町の人事

◎ 3 月 31 日付退職

▶目黒政寿

（参事・議会事務局長）

▶佐久間絹江

（三島保育所主任保育士）

◎ 3 月 31 日付退任

▶地域政策課長＝佐々木健

（※県観光交流局県産品振興戦略課へ異動）

◎ 4 月 1 日付異動

※氏名の後のかっこ書きは旧役職または旧所属課です。

【課長相当職】

▶議会事務局長（併任）＝秦和幸

▶地域政策課長（県派遣）＝

橋本公和

（県企画調整部エネルギー課）

【係長相当職】

▶生活工芸館長＝板橋淳也

（生涯学習課生涯学習係長・交流センター所長）

▶議会事務局次長＝星保弘

（生活工芸館長）

▶生涯学習課生涯学習係長・交流センター所長＝北館亮

（地域政策課地域政策係）

【一般職】

▶総務課総務係＝宗形和哉

（産業建設課建設係）

▶産業建設課建設係＝五十嵐優

（産業建設課産業係）

◎ 4 月 1 日付採用

▶地域政策課生活工芸館＝

鹿執毅（新潟県出身）

▶産業建設課産業係＝

三浦健太郎（埼玉県出身）

ご寄附

ありがとうございました

ふるさと納税（町へのご寄附）

舟木 良平 様（岡山東玉野市）

町社会福祉協議会への寄附

ご遺志によるもの

阿 部 次 男 様（松 原）

目 黒 トミエ 様（滝 谷）

渡 部 厚 子 様（西 方）

平 本 芳 秋 様（西 方）

長谷川 清 雄 様（川 井）

栗 城 吉 兵 様（宮 下）

五十嵐 実 様（大 谷）

一般の寄付

ボランティアひまわり（宮 下）

黄色い帽子で 事故防止

明るい社会づくり運動両沼地区協議会は、三島小に入学する児童のために、黄色い帽子を町に贈呈しました。

3 月 10 日に同協議会の馬場幸造さんが町教育委員会を訪れ、手渡された黄色い帽子は、入学式で新 1 年生に贈られます。

町の人口と世帯

3 月 1 日現在

人口	1,806	-3	出生	0
男	875	-1	死亡	2
女	931	-2	転入	1
世帯	810	±0	転出	2

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月 1 カ月間に届出のあった人数です。

会津職業能力開発促進センター 訓練生募集のお知らせ

◆コース名「生産システムサービス科」

◆募集締切

4 月 20 日㊦～ 5 月 15 日㊦まで

◆定員 15 人

◆訓練期間

平成 27 年 6 月 2 日㊦～

平成 27 年 11 月 27 日㊦まで

◆対象者

公共職業安定所に求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方。

◆受講料 無料

◆選考日 平成 27 年 2 月 17 日㊦

※施設見学会（キャリアアップガイダンス）を 4 月 20 日㊦、5 月 11 日㊦の 9：30～12：30 に行います。

㊦会津職業能力開発促進センター

☎ 0242 (26) 0520 FAX 0242 (26) 1585

国民年金基金制度のご案内

国民年金基金は、自営業、農業などの国民年金の第一号被保険者の方々がゆとりある老後を過ごせるよう、国民年金に上乗せする公的な年金制度です。加入は任意で様々な年金のタイプから現在の状況や将来設計にあわせて選ぶことができます。

◆加入できる方

国民年金に加入している 20 歳以上 60 歳未満の方及び 60 歳以上 65 歳未満で国民年金に任意加入している方

※掛金は全額社会保険料控除、受け取る年金公的年金等控除の対象になり、税制面で優遇されます。また、年金受給や保証期間内にお亡くなりになった場合、ご家族に一時金が支払われます。

㊦福島県国民年金基金

☎ 0120 (65) 4192

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯(1月) **0** 件

自転車利用時のお願い

①ツースロック（施錠 2 箇所）を
自転車盗難は、県内の全刑法犯内で最も件数の多い犯罪です。被害に遭った自転車は無施錠やワンロック（施錠 1 箇所）による被害が大多数です。ツースロックされた自転車の盗難被害は極めて少なく、被害防止に大変高い効果があります。ワイヤー錠などの鍵をもう一つ取り付け、ツースロックしてください。

②「福島県自転車安全利用五則」を守りましょう

★福島県自転車安全利用五則★

1. 自転車は原則車道を左側通行
歩道は例外
2. 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行
3. 信号遵守と一時停止・安全確認
4. 信号ルール・マナーを守る
・飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
・夜間はライト点灯・反射材装着
・交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- ・運転中の携帯電話・ヘッドホン使用、傘さし運転の禁止
5. 被害軽減のためヘルメット着用

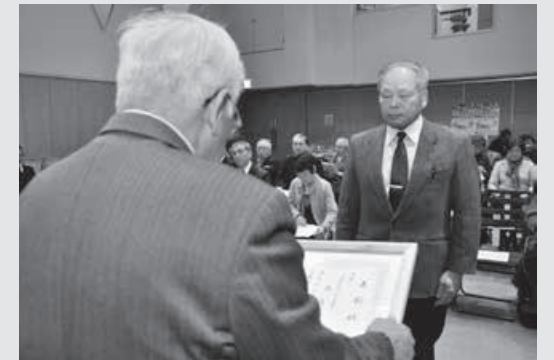
街頭犯罪発生件数（2月）

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空き巣ねらい		
忍 び 込 み		
事務所荒らし		
出 店 荒 ら し		
自 動 車 盗		
オートバイ盗		
自 転 車 盗		
自販機ねらい		
車 上 ね ら い	1	
ひ っ た く り		
部 品 ね ら い		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	1	0
全 刑 法 犯	9	0

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

第34回三島町生活工芸品展

秦 育雄 さん（大石田） 大賞に輝く



二瓶町長から賞状を受ける秦育雄さん



町生活工芸品展・大賞受賞作品
「山ブドウ手提げ」秦育雄さん

受賞者（敬称略）

三島町生活工芸品展

第34回三島町生活工芸品展は3月14日・15日に開催されました。町民85人、547点の作品の中から、秦育雄子さん（大石田）の山ブドウ手提げが大賞に選ばれました。

また、同時に第14回全国

編み組工芸品展が開催され、99人から寄せられた743点の作品の中から、角田ツヤ子さん（浅岐）のモワダ手提げバッグが最高賞の経済産業大臣賞に選ばれました。角田さんは「会社務めをやめて、ものづくりを始めて4年目になりま

す。休憩時間に仲間と一緒におしゃべりをしながら、お茶を飲んだりお菓子を食べたりして作業すること。それが何よりの楽しみです。これからも楽しみながら続けていきたいです」と喜びを語りました。

両工芸品展の審査委員長を務めた、当町の生活工芸運動アドバイザーで名誉町民の宮崎清さんが講評を述べ「作品には作り手の姿が良く表れます。受賞作品は、どれも丁寧に仕上げられています。」と受賞者をたたえました。

▼大賞Ⅱ秦育雄（大石田）山ブドウ手提げ▼伝統技術者証Ⅱ長郷タツエ（間方）アカソスカリ、角田タケノ（浅岐）ヒロロスカリシヨルダー、五十嵐文吾（大登）マタタビそぼざる▼優秀賞Ⅱ長谷川一雄（桑原）マタタビシヨルダーバッグ、二瓶キシイ（名人）モワダ大バッグ、武井清二（大谷）山ブドウ手提げかご▼奨励賞Ⅱ馬場政幸（大谷）曲げわっぱ弁当箱、飯塚勲（大

第14回全国編み組工芸品展

角田 ツヤ子 さん（浅岐） 経済産業大臣賞



経済産業大臣賞を受賞した角田ツヤ子さんと受賞作品のモワダ手提げバッグ

石田）ネコちぐら、角田清

義（浅岐）マタタビ手提げ、

▼日本赤十字社県支部長賞

Ⅱ五十嵐フミイ（大谷）ヒ

ロロ・アカソ手提げかご▼

県老人クラブ連合会長賞Ⅱ

小松順吉（西方）マタタビ

手提げかご▼町文化協会長

賞Ⅱ板橋久枝（宮下）山ブ

ドウチヨーカー▼町商工会

長賞Ⅱ馬場修子（松原）裂

き折りマフラー▼町観光協

会長賞Ⅱ二瓶トヨ子（西方）

山ブドウストラップ▼町社

会福祉協議会長賞Ⅱ目黒良

介（滝谷）マタタビ米とぎ

ざる▼町老人クラブ連合会

長賞Ⅱ角田進（川井）ほう

き▼福島民報社賞Ⅱ菅家ア

イ子（間方）山ブドウ外皮

抱えバッグ▼福島民友新聞

社賞Ⅱ羽賀孝子（滝谷）山

ブドウ手提げかご▼旬マル

シェみしま賞Ⅱ佐久間スミ

子（宮下）山ブドウ長財布

▼町生活工芸運動友の会長

賞Ⅱ青木英逸（西方）山ブ

ドウ手提げかご、小松豊（西

方）マタタビ半ざる、小松

トシ子（西方）アカソ手提

げ▼宮崎清賞Ⅱ菅家ハルイ

恵（大谷）山ぶどう手提げ

かご、海老名一子（松原）

からむし長財布、角田ツヤ

子（浅岐）モワダ・ミヨウ

ガ巾着、角田晴実（川井）

マタタビ楕円ざる、渡部ユ

キ子（荒屋敷）モワダ手提

げかご、五十嵐フミエ（大

石田）長財布、二瓶譲（大谷）

山ブドウ抱えバッグ、秦愛

子（大石田）アカソシヨル

ダー、五十嵐タメ子（浅岐）

ヒロロ・モワダ・アカソ携

帯入れ、齋藤聡（大谷）S

PF材椅子

全国編み組工芸品展

▼経済産業大臣賞Ⅱ角田ツヤ

子（浅岐）モワダ手提げバッ

グ▼林野庁長官賞Ⅱ大山達

朗（会津若松市）手提げバッ

グ▼東北経済産業局長賞Ⅱ

佐藤聡明（福島市）花かご▼

福島県知事賞Ⅱ松谷正夫（須

賀川市）山ブドウシヨルダー

バッグ▼一般財団法人伝統的

工芸品産業振興協会賞Ⅱ板橋

泰二郎（滝原）山ブドウ手提

げかご▼三島町長賞Ⅱ三星智

善（喜多方市）背負いかご▼

奥会津三島編組品振興協議会

長賞Ⅱ大山幸子（宮城県）ざ



会場は多くの来場者でにぎわった

る▼奥会津三島編組品振興協議会長賞Ⅱ小山田耕治（鹿児島県）荷かご▼福島民報社賞Ⅱ菅家哲夫（金山町）浅ざる▼福島民友新聞社賞Ⅱ角田恵治（金山町）平ざる▼NHK福島放送局賞Ⅱ今泉弘義（田村市）書類かばん▼福島テレビ賞Ⅱ五十嵐富一（大谷）ガマ手提げかご▼福島中央テレビ賞Ⅱ大野竹夫（本宮市）手提げかご▼福島放送賞Ⅱ北見満枝（鏡石町）手提げバッグ▼テレビユー福島賞Ⅱ諏佐信平（金山町）四つ目物干しざる▼奨励賞Ⅱ安部たづえ（千葉県）クルミかご、Ⅱ黒田勇志（金山町）米研ぎざる、Ⅱ渋谷昭子（北海道）花結びかご、Ⅱ野中勇（会津美里町）クルミ皮手提げバッグ、Ⅱ青木基重（西方）ヒロロ蓑

雪の下で春を待ちわびるカタクリ
「今年も桜と一緒に咲けるかな」



三島町西方・大林ふるさとの山

カタクリ・さくらまつり

4月25日(土) ~ 4月29日(祝)

開花は雪解けの時期や天候に左右されますので、
開花情報をお問い合わせの上お出掛けください。

☎三島町観光協会 ☎0241(48)5000

<http://www.mishima-kankou.net/>

主催：三島町・西方地区・西方共有財産管理会
共催：西方カタクリの会・三島町観光協会